

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		利用者様と指導員1名が活動しやすい広さを提供させていただいています。	運動を行う場合は支援室外の広い場所で行えるよう配慮させていただきます。
	②	職員の配置数は適切である	6		適切な人数で対応できるようにシフトも工夫しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	可能な限りいつも同じ支援室で活動しています。また、『りんごの一む』等と名前で呼びやすく工夫しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		テーブルや椅子の配置、一人ひとりのお子さんに合わせて整えています	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		ミーティングを行い、振り返りをしながら次の支援や業務を行う。	シフトで休みの職員も共通理解できるようなノート等を作成していきたいと考えています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		結果を待合室に掲示させていただいています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		結果を待合室に掲示させていただいています。	まとめたものを今後ホームページ等にも公開し改善したいと考えています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		監査等で評価して頂いています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎日の研修や事例検討に参加し、向上に努めています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		主に児発管が行い、他指導員と会議を開いた上で、共通理解を図っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		知能検査等を参考にさせていただき、面談を行わせていただいています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		主に児発管がガイドラインに沿って、一人ひとりに合った具体的な支援内容の設定に努めています。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		計画を職員全員が理解した上で、その都度そのお子さんに合った支援プログラムを立てて行っています。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		指導員全員で考えながら、プログラムを立案しています。そのお子さんの様子や保護者様が求めていること等も共有しています。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		前回の様子含め、その時に合ったものを、毎回同じではない内容を提供しています。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	6		基本的には個別ですが、他児や色々な人という内容で計画を立てながら、個別から集団に繋げられるよう作成工夫しています。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	毎日ミーティングを行っています。	参加できない職員がいるため、必ず共有します。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		片付けや記録入力の際にその日の様子等をお互いに伝え合っている。	参加できない職員がいるため、必ず共有します。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		その日のうちに支援の様子を記録します。	時間帯や支援人数によって遅れてしまうこともあるため、翌日に時間を設けて入力します。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		6カ月に1度必ず行います。		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		主に児発管が参加しています。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	市役所の方や相談支援事業所等、子育て支援に関わる方との連携をおこなっています。	直接的に指導員が関わることは少ないです。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	医療的ケアが必要な子どもさんはいませんが、地域の福祉課や保育所、幼稚園と関わりながら支援を行っています。		
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	医療的ケアが必要な子どもさんはいませんが、協力医との連携は出来ています。		
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		お子さんが言っている保育施設との情報共有を行っているところもあります。	児童発達支援に通っていることを保育施設に伝えたくない保護者様もいます。	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		年長児になると紙面で教育委員会と学校へ情報共有と相互理解に努めています。		

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		市等で行われている研修や報告会に参加しい助言や研修を受けています。	主に管理者や児発管が参加していますが、塩津員が参加してみても療育の質の向上に繋がるのではないかと考えています。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	利用者様のきょうだいがイベントに参加した際に時々あります。	コロナ禍で人数制限をしたり、外部の方が交流するのは難しいのではないかと考えています。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1	年4回の開催がされていますが、その際に他事業所との意見交換をしています。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		ペアトレが必要なご家族様がいらっしゃるため、実施方法を検討中です。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	ご契約の際にご説明しております。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		ご契約の際にご説明しております。	より分かりやすく丁寧に説明する必要があると考えています。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		事業者内相談を実施し、お話の機会を設けています	
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	ママカフェ等のイベントを企画し交流する機会を設けています。	保護者様同士の話す場を設けたいと思っているが、実際は時間などの調整が難しいところがある。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		クラゼミ通信やSNS等で活動の様子やイベント情報等を発信しています。	
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1		
	非常時等の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		緊急連絡先やマニュアルを策定し、職員間で共有しています。
㉟		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			月に1回防災訓練を実施しています。様々な災害を想定し行っています。	

		6			
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		保護者様へご確認させていただいています。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		今後より発信する機会を増やしていきます。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ファイルを作成し、職員同士で共有しています。再発防止する為解決策等を話し合っています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止の研修を職員全員受講しています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		契約の際にご説明させていただいています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2023年 2月 15日

事業所名: こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校
 合: 66%

保護者等数(児童数):32 回収数:21 割

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	3			もう少し広いスペースだと余裕があったのかなと思います。	ご不便をお掛け致しますが、郡山市に届け出しているスペースで活動させていただいています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19			2	生徒一人に対し、一人の先生がついてくれるのは十分すぎると思います。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	6			構造は分かりやすいが、階段で上る必要があり、バリアフリー化されていない。毎回の流れが同じであると、本人も覚えやすいのかなと思います。	環境や設備等に関しては大家さんと逐一相談させていただきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20			1	計画した内容が結果的に達成した、しないは別としてきちんと特性に寄り添った計画表だと思います。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		4	ガイドラインの説明があったか不明。	契約の際に丁寧に説明していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	1			特性に合わせて毎回対応して下さって助かります。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	4		9	私を知る限りありません。	
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1		1		

説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	8	2	1			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	8	2	1	もしそういったプログラムを学ぶ機会があれば、教えて頂きたいです。	職員研修で得た知識や技術を反映させていきます。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2		1	日々の生活の中で変化があればその都度、担当先生などに伝え、共有しています。今日どんなことがあったか話してくれるので、こちらも安心して預けることができるのでありがたいです。何をしたか、子がどう反応したかの説明、何をできなかったの状況は細かく説明あり。説明と対策の関係でこの位置の評価。	支援の状況説明だけではなく、今後の関わりに関する内容も共有させていただきます。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20			1	相談などあった際お時間を取っていただき面談しています。		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	5	7	あまり会話をする機会がないです。もしあるなら参加したいです。今はコロナで難しいと思いますが、落ち着いたら開催して欲しいです。	お子さんの年齢が近い保護者様同士で相談できる環境を調整していきます。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20				1	どの先生に相談しても快く話を聞いてくれたりするので助かっております。いつもたくさんの相談や話を聞いてくれて、それに対してアドバイスなどをくれる。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20				1	いつも気にかけて下さっています。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	3			1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18	1			1		
	非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	1			4	今後より発信する機会を増やしていきます。

対応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			4		
	満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19			1	
		㉓	事業所の支援に満足しているか	21				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。